第25号様式(第18条関係)

診療用放射線照射装置備付届

　　年　　月　　日

　　大分県知事　　　　殿

住所

管理者

氏名

電話番号(　　)　　　―

　下記のとおり病院(診療所)に診療用放射線照射装置を備えたいので、医療法第15条第3項及び医療法施行規則第26条の規定により届け出ます。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 病院(診療所)の名称及び所在地 | 名称 | 　 |
| 所在地 | 　 |
| 放射線照射装置の概要 | 製作者名 | 　 |
| 型式 | 　 |
| 個数 | 　 |
| 装備する放射性同位元素の種類及び数量 | 種類 | 　 |
| 数量 | ベクレル |
| 放射線照射装置を使用する者 | 氏名 | 職種 | 放射線診療に関する経歴 |
| 　 | 　 | 　 |
| 予定使用開始時期 | 　　　　　　年　　　月　　　日 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 造設備及び予防措置放射線照射装置の構 | 放射線源収納容器の照射口閉鎖時1mの距離における空気カーマ率 | 70マイクログレイ／1ばく射以下・超える |
| 二次電子ろ過板 | 有・無 |
| 照射口開閉用遠隔操作装置 | 有・無 |
| 放射線照射装置使用室の構造設備 | 使用の場所 | 　 | 　 |
| 建築物の構造 | 耐火構造・不燃材料 |
| 使用室画壁外側の実効線量 | 1ミリシーベルト／1週間以下・超える |
| 出入口の数 | 通常出入口　　　　　　　　　　　箇所 |
| 非常口　　　　　　　　　　　箇所 |
| 放射線発生時の自動表示装置 | 有・無 |
| 標識 | 有・無 |
| 貯蔵施設の構造設備 | 貯蔵の方法 | 貯蔵室・貯蔵箱 |
| 貯蔵室・貯蔵箱の場所 | 別添図面のとおり |
| 貯蔵施設の構造 | 鉄筋コンクリート・金庫その他(　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 貯蔵施設の遮蔽材料 | 　 |
| 貯蔵室の出入口の構造 | 出入口の数 | 通常出入口　　　　　　　　　　　箇所 |
| 非常口　　　　　　　　　　　箇所 |
| 甲種防火戸 | 有・無 |
| 閉鎖設備 | 鍵・その他(　　　　　　　　　　) |
| 貯蔵箱の閉鎖設備 | 　 |
| 貯蔵容器の遮蔽材料 | 　 |
| 貯蔵物の種類及び数量の表示 | 有・無 |
| 貯蔵施設の標識 | 有・無 |
| 構造設備運搬容器の | 容器の構造 | 　 |
| 運搬物の種類及び数量の表示 | 有・無 |
| 運搬容器の標識 | 有・無 |
| の構造設備放射線治療病室 | 治療病室の場所 | 　　　　　　　　　　階　　　　病室 |
| 出入口の数 | 通常出入口　　　　　　　　　　　箇所 |
| 非常口　　　　　　　　　　　箇所 |
| 標識 | 　 |
| 放射線治療病室の予防措置放射線照射装置使用室、貯蔵設備、運搬容器及び | 注意事項の掲示 | 患者 | 有・無 |
| 従事者 | 有・無 |
| 管理区域 | 管理区域を設ける場所 | 別添図面のとおり |
| 管理区域の境界 | 1.3ミリシーベルト／3ヶ月を超えない措置有・無 |
| 立入制限措置 | 有・無 |
| 標識 | 有・無 |
| その他 | 敷地内居住区域及び敷地境界における実効線量 | 250マイクロシーベルト／3ヶ月を超えない措置有・無 |
| 入院患者の被ばく防止病室における実効線量 | 1.3ミリシーベルト／3ヶ月を超えない措置有・無 |
| 従事者の被ばく測定器具 | ガラスバッジ、ポケット線量計その他(　　　　　　　　　　　　　　　　) |

注　1　隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用放射線照射装置使用室の平面図及び側面図を添付すること。

　　2　使用室図は、照射方向、線源の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入した50分の1又は100分の1の縮図とすること。

　　3　管理区域の標識等の位置を使用室図中に記入すること。

　　4　漏えい放射線測定記録は届出に添付不要であるが、測定記録を保管しておくこと。

5　大分県外来医療計画で定める共同利用計画を添付すること。

参考様式（注５関係）

共同利用計画

年　　　月　　日

住所

医療機関名

管理者名

担当者名

連絡先

□共同利用を行う

＜医療機器＞

＜対象とする医療機関＞

＜保守・整備等の実施に関する方針＞

＜画像撮影等の検査機器については画像情報及び画像診断情報の提供に関する方針＞

□共同利用を行わない

＜共同利用を行わない理由＞